

作成日：R6 年 11 月 18 日

令和 6 年度第 2 回 高松圏域自立支援協議会 全体会議事録

日付	令和 6 年 11 月 18 日(月)
時間	14:00 ～ 16:00
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センター
参加機関等	高松市医師会、香川県東讃保健福祉事務所、香川県精神保健福祉センター、障害者生活支援センターたかまつ、相談支援センターりゅううん、地域生活支援センターこだま、地域活動支援センタークリマ、障害者地域生活支援センターほっと、ライブサポートセンター、香川県立高松支援学校、香川県立香川中部支援学校、香川県立香川東部支援学校、高松公共職業安定所、障害者就業・生活支援センターオリーブ、三木町福祉介護課、直島町住民福祉課、高松市総合教育センター、高松市障がい福祉課、香川県障害福祉相談所、garyu、hitotoco、ナザレの村、ええる、自立ケアシステム香川、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 34名参加

会則の変更について

議事	質問①第1条に書かれている“”設置要綱“はどのように確認できるのか。 ⇒高松市より；要綱は行政が作成しており、情報公開の手続きにより申請すれば、公開は可能。 質問②上記要綱を、部会メンバーは見ることはできないのか ⇒要望があれば、情報提供することは可能。
----	--

各部会の取り組み報告の関する質疑応答

議事	<u>就労支援部会へ</u> 質疑⇒就労選択支援事業について、詳細な情報などを教えてもらいたい。
----	---

応答⇒就労選択支援事業の実態がまだ部会内でも明確ではない。現時点で決定されている内容について部会で情報共有している段階である。

現時点では就労移行支援事業所が主に担っていくのではないかと
いう見方もある。また B 型事業所については3年間の実績が必須とな
ると、基準に該当しない事業所も多いと考えられる。

意見⇒B 型事業所利用希望者すべてを就労移行支援が担っていくのは限界
があるのではないか。結果、手を挙げる事業所が少なくなるのではな
いかという意見もある。

近日、県が主催の研修が実施されるため、県の説明以降により具体
化するのではないかとと思われる。

権利擁護部会へ

質疑⇒①障害者差別解消法に関する職員への研修も含めて検討したいが、
市政出前講座の講師として登壇したのか

②意思決定支援の提供は義務化している中で、ガイドラインを読んだ
ことがないという事業所も多いため、義務化していることを事業所
に周知してもらえないか。

応答⇒①市の職員が講師として派遣された。

②今月実施する研修会の中で周知する。

事務局へ

意見⇒日中支援型サービスの評価を行う中で、系列で運営されている GH
において、改善を提案したことが、別の同系列の GH で同じことを指
摘する場面があった。評価をうけた改善には義務がなく、改善が見ら
れないまま時間が経過することへの危惧がある。

協議会で取り組んでいる内容が形骸化しないように情報共有を行っ
ていくことが必要。

三木町より;来年度実施される就労選択支援事業にむけた提供体制をどの
程度検討されているのかを知りたい。

高松市医師会より

患者が病院に断られるケースが増えてきている。以前から、難しさはあったも
のの、何とか受け入れてもらっていたが、最近はかなり厳しい状況がある。コ
ロナ以降、病院が断り慣れているのか、断るケースが増えている。医師から

	の紹介では受けてくれない場合があるため、患者が直接受診し、お願いしてみたらどうかと話をすることが増えてきた。医師には応酬義務があり、直接大きな病院に飛び込んでみてお願いしてみるように5年ほど前から伝えていたが。最近では患者が受診した際に、今日は診察したが次回は診察できないといわれるケースや、事務レベルで断るケースが出てきている。 ⇒医ケア児でも夜間などで断れるケースもある。救急の場合でも主治医に断られ、救急車待機30分となることもあった。訪問診療で対応せざるを得ないケースもある。 ⇒定期的に入院していた方が障害程度が重くなると、医師は受け入れる意向はあるが、看護サイドから対応が難しいといわれ、完全に在宅生活となったケースもある。 このような現状をどこに訴えていけばよいのか ⇒断られたケースを集積して、訴えていく場合の材料にしてはどうか。 香川県のてんかん協会が断られることが多いため、県に拠点受け入れ病院の整理を求めている。医ケア児の団体でも同様の動きがある。 断られるケースのデータを集積して、どのようなケースが断られているのかを取りまとめて分析することも必要だろう。
--	---

その他	
議事	①日常生活支援用具の給付で緊急時発電(バッテリー)が給付対象となっている自治体もあるが、高松圏域の自治体はどうなっているか 高松市:非該当となっており、具体的な検討は進んでいない。そのようなニーズがあることは把握しており、検討案の一つとして考えていきたい。 三木町;非該当ではあるが、要望があれば個別の対応で対処している。 直島町;非該当